

The Lung

神戸大学大学院医学研究科
呼吸器内科学

第1巻 第1号 (2011年)

発行:650-0017神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科
TEL:(078)382-5846 FAX:(078)382-5859
http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html

ごあいさつ

この冬は寒さも厳しく、またインフルエンザを初めとして感染症患者数も多い状況が続いておりましたが、先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしく御願いたします。

これまでの諸先輩、同窓会の先生方のご努力の賜と思っておりますが、神戸大学呼吸器内科の実績が少しずつ認められるようになりました。今年は私共にとって大きな変化が期待される年と位置づけています。一つには、2011年度より呼吸器内科学分野に「睡眠呼吸管理部門」が設置されることとなり、特命講師1名(小林和幸助教が昇任予定)、特命助教(笠井大介医師が採用予定)の計2名の教員が増員予定です。また、福島県立医大出身の立原素子先生が4月より(特定)助教として採用予定です。

二つ目としては、2011年度の日本呼吸器学会近畿支部呼吸の日記念市民講座を当科が担当することになりました。本年5月8日(日)午後1時より兵庫県医師会館で予定しております。気管支喘息、COPDの

睡眠呼吸管理部門が新設されます

この度、帝人在宅医療株式会社のご厚意により呼吸器内科学分野に睡眠呼吸管理部門が設立されることになりました。本部門は睡眠時無呼吸症候群(SAS)を中心に、実地臨床を通じて睡眠呼吸障害およびその合併症に対する総合的な研究を行う部門です。神戸大学呼吸器内科は大学病院の中でも比較的早期からSASの診療・研究に取り組み、多くの実績を残してきたことが評価され今回の本部門設置に至ったものと、諸先輩方のご尽力に感謝致します。

SASは閉塞型(OSAS)と中枢型(CSAS)に分類されますが、特にOSASは多くの生活習慣病と密接に関連しており、欧米型の生活習慣となった日本の社会においては、今後も患者数の増加が予測される疾患群の一つです。しかし、本邦における睡眠障害の専門医の数は少なく、特に生活習慣病などの合併症治

准教授 西村 善博



啓発を目指し、神戸中央市民病院呼吸器内科富井啓介先生と柏原赤十字病院院長片山寛先生のご講演、長野オリンピック金メダリスト清水宏保様との対談を予定しております。多数の方々のご参加を期待しております。

また、兵庫県喘息死ゼロ作戦は兵庫県医師会を中心として多くの先生方のご協力を頂き、昨年度より活動を始めました。是非、「喘息死ゼロ」プロジェクトへのご理解を頂ければ幸甚に存じます。

日本呼吸器学会の発祥地兵庫
「呼吸の日」
記念市民公開講座
なくそう喘息、気づこうCOPD
～「ぜんそく」ってどんなもの? 「COPD」ってなに?～
講演
「せき、たん、息切れは要注意、COPDは重大な生活習慣病」
笠井 善介 (神戸市立医療センター 中央市民公開講座実行委員)
「吸入ステロイド、続けることがあなたの喘息死ゼロ作戦」
片山 寛 (柏原赤十字病院院長)
特別企画:対談
「アスリートと喘息」
清水 宏保 (長野オリンピック スピードスケート金メダリスト)
西村 善博 (神戸大学大学院医学研究科 呼吸器内科 准教授)
先着20名
当日の抽選で抽選券を配布
抽選券発行数量
発行1日:30日より発行
開催日時 平成23年5月8日(日)
13:00~18:00
開催場所 兵庫県医師会館 大ホール
〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1
TEL:078-382-5846 FAX:078-382-5859
http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html

呼吸器診療には、質・量ともにまだまだ足りない要素も多く、日々改善のための努力をしているところですが、先生方のご支援、ご協力を何卒よろしく御願いたします。

助教 小林 和幸



療を含めた全人的な診療を行える専門医は極めて少ないのが現状です。本部門では睡眠障害だけでなく、生活習慣病を含めた総合的治療のできる睡眠専門医の育成を目指します。

また、近年、慢性心不全に合併するCSASを中心とした呼吸障害が注目を浴びています。今まで効果的な治療法がありませんでしたが、CSASの呼吸管理デバイスが開発され、新しい心不全治療として期待されています。当部門では循環器内科と協力し、心不全の睡眠呼吸障害についても研究していく予定です。睡眠障害は生活習慣病や慢性心不全などの慢性疾患と関わりが深いため、長期間にわたる患者のフォローが必要です。先生方と睡眠障害患者の診療を通じて医療連携が構築できれば幸甚です。何卒先生方のご指導、ご協力をお願いいたします。

目次:

ごあいさつ 1

睡眠呼吸管理部門について

2010年当科の臨床実績のご報告 2

兵庫県喘息死ゼロ作戦 2

大学病院の外来診察表 2

ハイライト:

神戸大学呼吸器内科より先生方への情報提供を目的に、ニュースレターを年4回発行することに致しました。有意義な情報提供を行う所存であります。ご意見・感想を頂ければ幸甚に存じます。

連絡先:神戸大学大学院
医学研究科呼吸器内科学
西村善博

E-mail:
nishiy@med.kobe-u.ac.jp

2010年当科の臨床実績のご報告

病棟医長:講師 小谷 義一

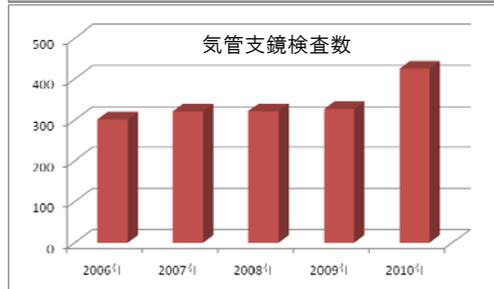
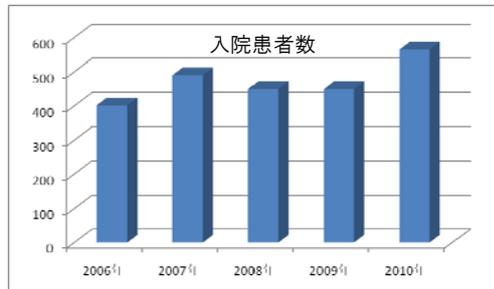


2010年の呼吸器内科入院患者数は延べ587名でした。定数26名の病床を効率的に運用し、在院日数は13日前後、病床稼働率も94%と当大学病院他科や他大学病院呼吸器内科と比較しても非常に良い成績となっております。

内容は例年通り肺癌患者が全体の約65%と最も多くなっておりませんが、間質性肺炎、重症呼吸不全などの入院数も増加しました。

また気管支鏡検査は右図にありますように、年々件数が増加し、昨年は426件となりました。

患者数の増加、早期退院、そして気管支鏡件数の増加いずれも地域の先生方のご協力の結果と考えます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



兵庫県喘息死ゼロ作戦について

本邦における成人気管支喘息の有病率は欧米と比べて低いが、人口10万人当たりの喘息死亡者数は高い状況です。厚生労働省人口動態調査によると、全年齢における喘息の死亡数は、1995年に7,253人とピークを示した後、2000年4,427人と順調に減少し、2009年は2,139人へとさらに減少しました。しかし、年間2,000名以上の患者が気管支喘息によってお亡くなりになっています。

本邦の喘息死には、大きく二つの特徴があります。喘息死亡者の90%近くが60歳以上の高齢者で占められている点、喘息死亡率には地域間に差が認められる点です。

このような状況の下、喘息死は予防できるものであるという観点から、2006年度に厚生労働省が「喘息死ゼロ作戦」を提案したことを受け、兵庫県全体として質の高い喘息治療を目指し「兵庫県喘息死ゼロ作戦」が2010年に設立されました。2次医療圏毎に世話人を置き、世話人が中心となって事業を進めています。医師、薬剤師、看護師に対する講演会や研修会、市民講座などを通じて、喘息治療の啓発活動を行っています。

実りのあるプロジェクトとして継続したい所存です。ご協力を是非よろしくお願ひいたします。

兵庫県喘息死ゼロ作戦

最前線の治療はこれだ！
気管支喘息はよくならないものだとあきらめてはいませんか？

気管支喘息は空気の通り道である気道に炎症が起こっている病気です。「炎症」を抑える抗炎症薬を中心に様々な薬剤が治療薬として開発されています。治療のメニューはたくさん用意されています。

炎症 ← **最も大切** 炎症に対する治療
発作 ← **あくまでも対応療法** 発作止め 気管支拡張薬

- 1) 吸入ステロイド：最も大切かつ重要です。
- 2) 長時間作用型の気管支拡張薬：上記との併用により症状コントロールがしやすくなります。
- 3) ロイコトリエン拮抗薬：吸入ステロイドに併用、あるいは吸入ができない人に用います。
- 4) 徐放性チオフィリン製剤：古くから使用されている薬剤ですが、やはり併用が原則です。
- 5) 抗IgE抗体：注射薬です。上記との併用で用います。劇的に効果を示す人もいます。

気管支拡張薬のみを使用するのは、発作が年に数回程度の軽症の方以外は絶対にやめましょう。

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授 西村 昌博

The Lung

大学病院の呼吸器内科外来体制が変わります！

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学

電話 078(382)5846

FAX 078(382)5859

URL: [http://www.med.kobe-](http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html)

[u.ac.jp/resp/index.html](http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html)

肺がんから「せき」「息切れ」まで何でもご相談下さい！



2011年4月から呼吸器内科外来体制を変更致します。大学病院としてより専門性の高い外来診療を行う目的で、午後専門外来を行うこととしました。先生方からご紹介いただいた患者さんは初診外来で診察させていただいた上で、各専門外来にて専門的治療を受けてもらいます。呼吸器疾患に対する幅広い対応ができるよう努力しておりますので、診断・治療にお困りの症例がございましたら是非ご紹介下さい。

	月	火	水	木	金
午前診 8:30~14:00	18診 初診 畠山	初診 新家・小林	初診 笠井	初診 田村	初診 河
	3診 肺癌 小谷	呼吸器一般 西村	SAS 石川	呼吸器一般 小林	肺癌 船田
午後診 (専門外来) 14:00~17:00	18診 COPD/喘息 小林	禁煙 新家	肺癌 小谷	COPD/喘息 山本	3診 退院再診 日下部
	3診 退院再診 日下部	間質性肺炎 船田	退院再診 徳永	SAS 植木	